

第2次みどりの風吹くまちビジョン（練馬区版総合戦略）に係る
数値目標および重要業績評価指標

令和元年（2019年）7月

練馬区

はじめに

平成26年11月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」により、地方公共団体は、国の長期ビジョン・総合戦略を踏まえて、地方版総合戦略を定めることが求められています。また、国は地方版総合戦略について、「基本目標における数値目標」と「具体的な施策ごとの重要業績評価指標（KPI）¹」を設定し、P D C A（Plan・Do・Check・Action）サイクルを通じた客観的な効果検証を行うことを求めています。

区は平成30年6月に「暮らし」「都市」「区民参加と協働」の3つの分野からなるグランドデザイン構想を策定し、区の目指す将来像を示しました。平成31年3月にはグランドデザイン構想に示す将来像の実現に向けた、区の新たな総合計画として「第2次みどりの風吹くまちビジョン・アクションプラン」を策定しました。さらに、アクションプランの年度別取組計画を令和元年6月に策定しました。

今回、第2次ビジョンおよびアクションプランをあわせて新たな地方版総合戦略と位置づけ、「第2次みどりの風吹くまちビジョン（練馬区版総合戦略）に係る数値目標および重要業績評価指標」を新たに設定しました。

【数値目標・KPIの設定にあたっての考え方】

基本目標における数値目標は、ビジョンの6つの施策の柱ごとに設定しました。

KPIはアクションプランの21の戦略計画ごとにアウトプット指標²とアウトカム指標³を設定しました。

数値目標、KPIおよびアクションプランの年度別取組計画の進捗状況については、外部有識者等により構成する区政改革推進会議における検証・区議会の審議を踏まえ、点検・検証し、改善しながら第2次ビジョンに掲げた施策の実現をめざします。

1 重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicator）

...施策および事務事業の達成状況を検証するために設定する指標

2 アウトプット指標... 行政活動そのものの結果を表す指標

3 アウトカム指標... 施策や事業の実施により発生する効果・成果（アウトカム）を表す指標

【表の見方】

| | |
|------------------|---|
| 基本目標 | 子どもたちの笑顔輝くまち |
| 数値目標 (令和5年度末) | 「子育て支援」の施策に対する満足評価（区民意識意向調査） ：平成30年度調査結果の62.1%から上昇 「学校教育」の施策に対する満足評価（区民意識意向調査） ：平成30年度調査結果の59.1%から上昇 |
| 基本的な方向性 | <p>子育ては誰が担うべきか、様々な考え方や価値観が存在しますが、最も尊重されるべきことは、それぞれの家庭の思いです。家庭で子育てがしたい、子どもを預けて働きたいなど、多様化する子育てサービスのニーズに応える施策を展開することで、子育てのかたちを選択できる社会を実現します。</p> <p>教育分野においては、平成28年2月に策定した「練馬区教育・子育て大綱」の目標である「夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成」の実現を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育サービスを更に充実させ、保育所待機児童を解消する。 ・保護者が子育ての悩みを安心して相談できる体制を充実する。 ・都と連携し、児童虐待を未然に防ぐ新たな仕組みをつくる。 ・全ての小学生が安心して過ごせる放課後の居場所をつくる。 ・児童生徒一人ひとりに応じた、きめ細かい指導や支援を行う。 |

| 戦略計画 | 重要業績評価指標（KPI） | | |
|---------------------------------|------------------------|-----------------------------|----------------------|
| | 指 標 | 現 状 値 原則：平成30年度末 | 目 標 値 （原則：令和3年度末） |
| 計画1 子育てのかたちを選択できる社会の実現 | 外遊びの事業(おひさまびよびよ)の増設 | 6か所 | 8か所 |
| | 練馬こどもカフェの創設 | 検討 | 7か所 |
| | 認可保育所の増設 | 65所 (定員14,760人) | 81所 (定員15,660人) |
| | 練馬こども園の認定 | 6園 | 25園 |
| | 保育所等入所希望者受入率 | 99.9% | 100% |
| 計画2 子どもの成長に合わせた切れ目のないサポートの充実 | (仮称)母子健康電子システムの構築 | 検討 | 運用開始 |
| | 外遊びの事業(おひさまびよびよ)相談員の配置 | | 8か所 |
| | 子ども家庭支援センターによる支援体制の強化 | 心理5人、保健師4人、福祉等15人、非常勤相談員10人 | 増員 |
| | 都と共同で取り組む仕組みの構築 | 協議開始 | 都と共同で取り組む仕組みの構築 |
| | 子ども家庭支援センターの相談件数 | 6,402件 | 現状値から増加 |

「現状値」欄

：原則として、平成30年度末の状況を表示しています。それ以外の時点の数値については、かっこ書きで時点を表示しています。

「目標値」欄

：原則として、令和3年度末の目標値を表示しています。それ以外の時点の数値については、かっこ書き等で時点を表示しています。

| | |
|-------------------------|---|
| 基本目標 | 子どもたちの笑顔輝くまち |
| 数値目標 (令和5年度末) | 「子育て支援」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) : 平成30年度調査結果の62.1%から上昇 「学校教育」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) : 平成30年度調査結果の59.1%から上昇 |
| 基本的な方向性 | 子育ては誰が担うべきか、様々な考え方や価値観が存在しますが、最も尊重されるべきことは、それぞれの家庭の思いです。家庭で子育てがしたい、子どもを預けて働きたいなど、多様化する子育てサービスのニーズに応える施策を展開することで、子育てのかたちを選択できる社会を実現します。 教育分野においては、平成28年2月に策定した「練馬区教育・子育て大綱」の目標である「夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成」の実現を目指します。 ・保育サービスを更に充実させ、保育所待機児童を解消する。 ・保護者が子育ての悩みを安心して相談できる体制を充実する。 ・都と連携し、児童虐待を未然に防ぐ新たな仕組みをつくる。 ・全ての小学生が安心して過ごせる放課後の居場所をつくる。 ・児童生徒一人ひとりに応じた、きめ細かい指導や支援を行う。 |

| 戦略計画 | 重要業績評価指標 (K P I) | | |
|---------------------------------|------------------------|-----------------------------|----------------------|
| | 指 標 | 現 状 値 原則：平成30年度末 | 目 標 値 (原則：令和3年度末) |
| 計画1 子育てのかたちを選択できる社会の実現 | 外遊びの事業(おひさまびよびよ)の増設 | 6か所 | 8か所 |
| | 練馬こどもカフェの創設 | 検討 | 7か所 |
| | 認可保育所の増設 | 165所 (定員14,760人) | 181所 (定員15,660人) |
| | 練馬こども園の認定 | 16園 | 25園 |
| | 保育所等入所希望者受入率 | 99.90% | 100% |
| 計画2 子どもの成長に合わせた切れ目のないサポートの充実 | (仮称)母子健康電子システムの構築 | 検討 | 運用開始 |
| | 外遊びの事業(おひさまびよびよ)相談員の配置 | | 8か所 |
| | 子ども家庭支援センターによる支援体制の強化 | 心理5人、保健師4人、福祉等15人、非常勤相談員10人 | 増員 |
| | 都と共同で取り組む仕組みの構築 | 協議開始 | 都と共同で取り組む仕組みの構築 |
| | 子ども家庭支援センターの相談件数 | 6,402件 | 現状値から増加 |

| 戦略計画 | 重要業績評価指標（KPI） | | |
|-------------------------------------|--|-----------------------|--------------------|
| | 指標 | 現状値 原則：平成30年度末 | 目標値 （原則：令和3年度末） |
| 計画3 すべての小学生を対象に放課後の居場所づくり | ねりっこクラブの実施 | 13校 | 35校 |
| | 夏休み居場所づくり事業の実施 | 7校 | 11校 |
| | ねりっこ児童クラブ入会希望者受入率 | 97.2% (H31年4月1日現在) | 100% |
| 計画4 夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成 | 電子黒板・教員用タブレットパソコン全校配備 | モデル校での活用状況の検証 | 全校配備 |
| | 児童生徒用タブレットパソコンの配備 | | 配備（一部） |
| | 地域未来塾の実施 | 70校 | 75校 |
| | 特別な支援を要する不登校児童・生徒への支援の拡大 | 実施（小中学生対象） | 対象年齢拡大 定員拡大 |
| | ICTを活用して指導できる教員の割合 （文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」により測定） | 74.1% | 現状値から上昇 |

| | |
|-------------------------|---|
| 基本目標 | 高齢者が住みなれた地域で暮らせるまち |
| 数値目標 (令和5年度末) | 「高齢者福祉」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) : 平成30年度調査結果の62.7%から上昇 |
| 基本的な方向性 | <p>介護保険施設等の整備や医療と介護が連携した在宅療養ネットワークの構築に取り組むとともに、高齢者一人ひとりに合ったサービスを提供することで、住み慣れた地域での暮らしを支えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターをより身近で利用しやすい窓口にする。 ・医療と介護が連携した在宅療養ネットワークをつくる。 ・介護保険施設等を着実に整備するとともに、在宅サービスを充実する。 ・コンビニや薬局と連携した介護予防・地域の見守りに取り組む。 ・働く意欲がある高齢者が、元気に働き続けられる機会を増やす。 ・高齢者が永年取り組んできた趣味等を活かした地域活動を応援する。 |

| 戦略計画 | 重要業績評価指標 (K P I) | | |
|-------------------------|--------------------------------------|---------------------|-----------------------|
| | 指 標 | 現 状 値 原則：平成30年度末 | 目 標 値 (原則：令和3年度末) |
| 計画5 高齢者地域包括ケアシステムの確立 | 地域包括支援センターの移転 | | 3か所移転 |
| | 担当区域見直し | 調整・検討 | 担当区域見直し |
| | 地域包括支援センターを中心とした在宅療養ネットワークの構築 | 在宅療養ネットワーク事業の実施 | 充実 |
| | 特別養護老人ホームの施設数 | 30施設 (定員2,173人分) | 35施設 (定員2,550人分) |
| | 高齢者在宅生活あんしん事業の利用者数 | 年間1,648人 | 年間2,100人 |
| | 地域包括支援センターの相談件数 | 年間165,157件 | 現状値より増加 |
| 計画6 元気高齢者の活躍と介護予防の推進 | 就職支援セミナー・職場体験の実施 | | 実施 |
| | はつらつシニア活躍応援塾の実施 | | 実施 |
| | 街かどケアカフェ 常設型 出張所跡施設等での開設 | 3か所 | 5か所 |
| | 街かどケアカフェ 出張型 コンビニ・薬局と連携した実施 | | 実施・充実 |
| | はつらつシニアクラブの参加者数 | 1,414人 | 1,800人 |
| | はつらつシニアクラブの実施箇所数 | 16か所 | 18か所 |
| | 要介護認定率 (第7期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画) | 20.5% (平成30年9月末) | 21.9%以下 (平成33年9月末) |

| | |
|-------------------------|---|
| 基本目標 | 安心を支える福祉と医療のまち |
| 数値目標 (令和5年度末) | 「障害者福祉」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) :平成30年度調査結果 59.4%からの上昇 「生活の安定に向けた自立支援」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) :平成30年度調査結果 60.7%からの上昇 「医療環境の充実」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) :平成30年度調査結果 51.2%からの上昇 「健康づくりの推進」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) :平成30年度調査結果 72.5%からの上昇 |
| 基本的な方向性 | 誰もが安心して暮らせ、未来に希望を持って生活できるまちの実現を目指し、福祉・医療サービスを一層充実させます。 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者の暮らしを支える住まいの場や家族を支援する体制を確保する。 ・障害者が多様で柔軟な働き方ができる環境をつくる。 ・ひとり親家庭や生活困窮世帯等の自立を応援する。 ・病床確保と医療機能の拡充に向けた取組を進める。 ・医師会、医療機関等と連携し、在宅医療の提供体制を充実する。 ・区民一人ひとりの健康づくりを応援する。 |

| 戦略計画 | 重要業績評価指標 (K P I) | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|-------------------|------------------------|
| | 指標 | 現状値 原則:平成30年度末 | 目標値 (原則:令和3年度末) |
| 計画7 障害者が地域で暮らし続けられる基盤の整備 | 重度障害者グループホームの整備 | 17室 | 27室程度 |
| | 福祉施設等から一般就労した年間の障害者数 | 年間226人 | 年間200人 |
| | 就労定着支援事業の利用者数 | 年間98人 | 年間160人 |
| | 農福連携作業に携わる障害者施設数 | 6施設 | 9施設 |
| 計画8 ひとり親家庭や生活困窮世帯等の自立を応援 | ひとり親家庭自立応援プロジェクトの充実 | プロジェクトの効果・検証 | 相談窓口への弁護士配置 出張相談の実施 |
| | 生活保護受給世帯の子どもへの支援 (子ども支援員の体制強化) | 支援の実施 | 強化 |
| | 中3勉強会の実施 | 年間56回 | 年間80回 |
| | 中3勉強会利用者の出席率 | 80.4% | 80% |

| 戦略計画 | 重要業績評価指標（KPI） | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|-------------------|----------------------|
| | 指標 | 現状値 原則：平成30年度末 | 目標値 （原則：令和3年度末） |
| 計画9 住み慣れた地域で安心して医療が受けられる体制の整備 | 病床の確保 | | |
| | 順天堂練馬病院の増床 | 400床 | 490床（90床増） |
| | 練馬光が丘病院の移転・改築 | 342床 | 457床（115床増） 令和4年度 |
| | 高野台新病院の整備 | - | 218床 |
| | 練馬区医師会による （仮称）医療連携・在宅医療サポートセンターの開設 | 関係機関調整 | 開設 |
| | 人口10万人あたりの一般・療養病床数 | 人口10万人あたり 281床 | 人口10万人あたり 320床 |
| 計画10 みどりの風の中で、自ら健康づくりに取り組めるまちの実現 | 練馬健康管理アプリ「ねりまちてくてくサプリ」のコンテンツの充実 | 検討 | 充実 |
| | 「ねりまちてくてくサプリ」の登録人数 | 約8,300人 | 約20,000人 |

| | |
|------------------|---|
| 基本目標 | 安全・快適、みどりあふれるまち |
| 数値目標 (令和5年度末) | <p>「災害に強い安全なまちづくり」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) : 平成30年度調査結果の55.2%から上昇 「鉄道・道路・バス交通など都市インフラの整備」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) : 平成30年度調査結果の57%から上昇 「駅周辺のまちづくり」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) : 平成30年度調査結果の50%から上昇 「みどりの保全と創出」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) : 平成30年度調査結果の76%から上昇 「エネルギー政策の展開」の施策に対する満足評価(区民意識意向調査) : 平成30年度調査結果の46.4%から上昇</p> |
| 基本的な方向性 | <p>著しく遅れている道路・鉄道などのインフラ整備を着実に進めていきます。あわせて、地震や豪雨災害による被害を最小限に抑えるため、地域ごとのリスクに応じた防災力を向上させる取り組みも欠かせません。また、災害時のエネルギーセキュリティの確保等の観点から、自立分散型エネルギー社会の実現も重要です。安全で快適な、みどりあふれるまちの実現を目指し、区民と手を携えながら積極的に取り組んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の耐震化・不燃化や狭あい道路の拡幅等、災害に強いまちづくりを進める。 ・都市計画道路の整備を着実に進める。 ・大江戸線の延伸、西武新宿線の連続立体交差化を早期に実現する。 ・拠点となる公園や都市計画道路の整備により、みどりのネットワークを形成する。 ・区民との協働により、みどりを育むムーブメントを広げる。 ・自立分散型エネルギー社会の実現に向けた取組を進める。 |

| 戦略計画 | 重要業績評価指標 (K P I) | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|-------------------|----------------------|
| | 指標 | 現状値 原則：平成30年度末 | 目標値 (原則：令和3年度末) |
| 計画11 地域の災害リスクに応じた「攻めの防災」 | 防災まちづくり推進地区における改善事業の実施 | 制度の検討 | 事業地区の指定(3地区程度)・周知・助成 |
| | 一般緊急輸送道路沿道建築物等の耐震改修件数 | 8件 | 19件 |
| | 地域別防災マップの作成 | 1地域選定 | 3地域作成 |
| | 防災訓練年間参加者数 | 72,000人 | 75,000人 |
| | 地域防災力の向上、安全・安心な地域づくりに対する満足評価 | 59.4% | 現状値から上昇 |
| 計画12 みどり豊かで快適な空間を創出する交通インフラの整備 | 都市計画道路の整備着手率 | 約6割 | 約7割 |
| | 西武新宿線の立体化 鉄道付属街路等の事業着手に向けた準備 | 都市計画原案作成 | 事業着手に向けた準備 |
| | みどりバスの再編等による公共交通空白地域改善の推進 | 再編に向けた調整 | 再編(4ルート) |
| みどりバスの乗車人数 | 1,147,154人 | 1,170,000人 | |

| 戦略計画 | 重要業績評価指標 (K P I) | | |
|----------------------------------|-------------------------|---------------------------------|----------------------|
| | 指 標 | 現 状 値 原則：平成30年度末 | 目 標 値 (原則：令和3年度末) |
| 計画13 魅力にあふれ利便性に富んだ駅前と周辺のまちづくり | 上石神井駅周辺地区のまちづくり | 上石神井駅前のまちづくり 事業手法検討 | 事業計画検討 |
| | 大江戸線新駅予定地周辺のまちづくり | (仮称)大泉学園町駅予定地周辺のまちづくり 整備計画検討 | 事業計画作成 |
| | 石神井公園駅周辺地区のまちづくり | 南口西地区市街地再開発事業 合意形成活動 | 事業認可 |
| | 「駅周辺のまちづくり」の施策に対する満足評価 | 50% | 現状値から上昇 |
| 計画14 練馬のみどりを未来へつなぐ | 稲荷山公園の拡張・整備の着手 | 調査・検討 | 事業説明会の開催 測量 |
| | 大泉井頭公園の拡張・整備の着手 | 調査・検討 | 関係機関調整 |
| | 特色ある公園等の整備 | | 整備完了6か所 |
| | 個人のみどりを地域で守る新しい仕組みの構築 | 事業内容の検討 | 構築 |
| | 「みどりの保全と創出」に対する満足評価 | 76% | 現状値からの上昇 |
| 計画15 住宅都市にふさわしい自立分散型エネルギー社会へ | 避難拠点でのEV(電気自動車)等の活用 | 災害時協力登録車制度の創設 | 周知 |
| | 地域コジェネレーションの導入 | 基本協定締結1か所 | 導入2か所 |
| | 「エネルギー政策の展開」の施策に対する満足評価 | 46.4% | 現状値からの上昇 |

| | |
|------------------|--|
| 基本目標 | いきいきと心豊かに暮らせるまち |
| 数値目標 (令和5年度末) | <p>「区内企業の活性化・魅力のある商店街づくり」の施策に対する満足評価（区民意識意向調査） ：平成30年度調査結果の43.7%から上昇</p> <p>「都市農業の振興と都市農地の保全」の施策に対する満足評価（区民意識意向調査） ：平成30年度調査結果の66.1%から上昇</p> <p>「文化・生涯学習・スポーツの振興」の施策に対する満足評価（区民意識意向調査） ：平成30年度調査結果の60.3%から上昇</p> <p>「観光の推進」の施策に対する満足評価（区民意識意向調査） ：平成30年度調査結果の49.6%から上昇</p> |
| 基本的な方向性 | <p>中小企業支援、商店街振興、都市農業、文化芸術・スポーツ振興など、区民が暮らしに潤いや幸せを感じる、魅力あふれるまちを目指して取組を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性を活かした企業支援・商店街振興に取り組む。 ・都市農業が持つ魅力と可能性を世界に発信する。 ・都市計画制度等を活用した農地保全を進める。 ・意欲的な農業者による多様な農業経営を応援する。 ・みどり豊かなまちと一体となった練馬独自の新しい美術館を創造する。 ・優れた文化芸術を楽しめる魅力的なイベントを展開する。 ・「映像文化のまち構想」を策定し、映像文化をテーマとしたまちづくりに取り組む。 ・スポーツ施設の整備を進め、多くの人が参加できるイベントを充実する。 |

| 戦略計画 | 重要業績評価指標（K P I） | | |
|---------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| | 指 標 | 現 状 値 原則：平成30年度末 | 目 標 値 （原則：令和3年度末） |
| 計画16 地域特性を活かした企業支援と商店街の魅力づくり | 創業セミナー・創業支援融資の実施 | 実施 | 実施 |
| | 学生向け創業セミナー等の実施 | | 実施 |
| | 産学連携セミナーの実施 | | 実施 |
| | 福祉・生活関連産業への支援の実施 | セミナー・個別相談会の実施、専門アドバイザー派遣の開始 | セミナー・個別相談会の実施、専門アドバイザーの派遣の実施 |
| | 練馬ビジネスサポートセンターを利用した創業者数 | 53人 | 現状値から増加 |
| 計画17 生きた農と共存する都市農業のまち練馬 | 生産緑地貸借制度を活用した農地保全 | 農地所有者意向調査の実施・農地斡旋の仕組みの検討 | 農地斡旋の実施 |
| | 認定農業者・都市型認定農業者の新規認定 | 22経営体 | 31経営体 |
| | 練馬果樹あるファームの開設支援 | 6件 | 23件 |
| | 認定農業者・都市型認定農業者のうち農業収入が増えた農業者数 | 55人 | 現状値から増加 |

| 戦略計画 | 重要業績評価指標 (K P I) | | |
|---------------------------------|-------------------------------|---------------------|----------------------|
| | 指 標 | 現 状 値 原則：平成30年度末 | 目 標 値 (原則：令和3年度末) |
| 計画18 練馬ならではの都市文化を楽しめるまち | みどり豊かなまちと一体となった練馬独自の新しい美術館の創造 | 再整備基本構想の検討 | 再整備基本構想に基づく設計 |
| | 四季を感じられるイベントの開催 | 実施 | 実施 |
| | 「映像文化のまち構想」策定 | 検討 | 策定 |
| | 四季を感じられるイベントの来場者数 | 27,013人 | 30,000人 |
| 計画19 豊かなみどりの中で誰もがスポーツを楽しめるまち | 公認陸上競技場「練馬総合運動場公園」での事業展開 | 開園式典、記念イベント開催 | 公認記録会の実施 |
| | 大泉さくら運動公園庭球場等整備 | 設計 | 整備（完了） |
| | 大泉学園町希望が丘公園運動場（第 期） | 設計 | 整備（完了） |
| | ユニバーサルスポーツフェスティバルの地域展開 | 3 か所 | 6 か所 |
| | ユニバーサルスポーツフェスティバル参加者数 | 950人 | 現状値から増加 |

| | |
|-------------------------|--|
| 基本目標 | 区民とともに区政を進める |
| 数値目標 (令和5年度末) | 「窓口サービス等の利便性の向上」の施策に対する満足評価（区民意識意向調査） ：平成30年度調査結果の62.7%から上昇 |
| 基本的な方向性 | <p>区民協働による住民自治の創造 地域の現場では、町会・自治会をはじめ、NPO・ボランティア団体などが地域の課題をわが事として考え、自発的に活動する動きが広がりつつあります。こうした取り組みを、区政の広範な分野に広げ、区政を「参加と協働」から「参加から協働へ」と深化させ、練馬ならではの住民自治を創造します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会・自治会の活性化を促進する。 ・区民協働の取組を推進する。 <p>窓口から区役所を変える 区役所全体の改革を目に見える形で進めるため、まず区役所の顔ともいうべき窓口から始めて、具体的な課題に着実に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来庁しなくても手続きができるサービスを拡大する。 ・窓口サービスを改革する。 |

| 戦略計画 | 重要業績評価指標（KPI） | | |
|------------------------|---|-------------------|--------------------|
| | 指標 | 現状値 原則：平成30年度末 | 目標値 （原則：令和3年度末） |
| 計画20 区民協働による住民自治の創造 | 町会・自治会組織の加入促進活動の実施 | 実施 | 実施 |
| | 相談情報ひろばの増設 | 10か所 | 14か所 |
| | パワーアップカレッジねりまのリニューアル | 開始準備 | 実施 |
| | 地域おこしプロジェクトの支援内容の充実 | 検討 | 充実 |
| | リニューアル後のパワーアップカレッジねりまの卒業生が地域活動団体へ加入した割合 | | 20% |
| 計画21 窓口から区役所を変える | 乳幼児一時預かり事業インターネット予約システム運用開始 | 検討 | 運用開始 |
| | 窓口情報提供システムの拡大 | 1か所 | 17か所 |
| | FAQの職員活用 | 検討 | 実施 |
| | 申請書一括作成システムの導入 | 検討 | 導入 |
| | 電子申請利用件数(東京電子自治体共同運営サービス) | 3,465件 | 4,400件 |
| | 窓口情報提供システムへのアクセス数 | | 前年度実績から増加 |